

2021/11/10

中部経済連合会 企業防災委員会 防災講演会
『気候変動により変わる水災害対策 ～流域治水対策を中心として』

国土交通省中部地方整備局
河川部長 田中 敬也

ポイント:

気候変動により治水対策はどう変わるのか

- >実績に基づく計画から予測を踏まえた計画へ
- >河川での対策から流域での対策へ
- >部分最適から全体最適化へ

0. はじめに: 治水における「正義とは何か」©マイケルサンデル

1. 気候変動と水災害、その事実とデータ。

～中部圏が抱える潜在的な水災害リスク。

- ・ゼロメートル地帯と伊勢湾台風。「水は昔を覚えている」by J.K.
- ・御囲い堤に小田井人足。不都合な真実？
- ・尾張と三河。隔てる地形が発展の礎？

2. 水災害と企業活動

- ・企業にとって必要な水災害リスク情報は？
- ・企業にとって必要な水災害対策は？ 企業が行政に求める水災害対策は？
- ・水災害リスクの評価と管理。今の科学・技術はどこまで到達しているのか。

3. 「流域治水」。新たに始まった取り組みとこれからの展望。

- ・部分最適から全体最適化へ。まちづくりと一体となった治水。
- ・伊勢湾台風を経験した天才建築家が夢見た構想を現実に